

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	①	自らの命は自ら守る「自助」意識の浸透

事業名	救急救助事業	担当課名	消防本部 警防課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
救急救助活動の複雑多様化に伴い、救急救助隊員の専門教育をはじめ、救急応急処置等の普及啓発及び救急救助資器材の整備など、救急救助体制の強化充実を図る。
(事業概要等)
① 各種研修にかかる費用 ② 救急救助資器材の整備及び点検にかかる費用 ③ 応急手当等の普及啓発にかかる費用 ④ 救急活動の資質向上を図るための泉州地域メディカルコントロール協議会負担金

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,735	7,357	9,141	6,862	
うち市負担分(千円)	7,735	7,357	8,173	6,862	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
普通救命講習Ⅰ・Ⅱ、救命実技受講者数	人	1,045	1,022	251	500
現場に居合わせた人(バイスタンダー)心肺蘇生法実施率	%	43	43	48	60
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
救命講習等については、コロナ禍の影響により実施回数及び受講者数は減少したが、過去の応急手当普及啓発の積み重ねやSNSでの心肺蘇生法の動画配信により、目的である心肺機能停止傷病者に対するバイスタンダーの応急手当実施率は上昇していることから、一定の成果があると考えます。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	非接触型の応急手当普及啓発のため、市のHP及びSNSでスマートフォンやパソコンで簡単に学べる心肺蘇生法の動画配信、及び広報いずみおおつで、その動画のQRコードを掲載し、応急手当の必要性を継続的に訴えた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍の影響により救命講習等の実施回数が減少したことから、感染防止対策を講じた講習方法で少しでも多くの方が受講できるよう取り組みが必要だと考えている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) コロナ禍の影響により救命講習等の受講者数は減少したが、バイスタンダーの応急手当実施率は上昇傾向のため、引き続き市のHPやSNSでの普及啓発に加え、感染防止対策を講じた講習方法で受講者数の増加を旨とします。
	改革・改善策等の具体的内容	